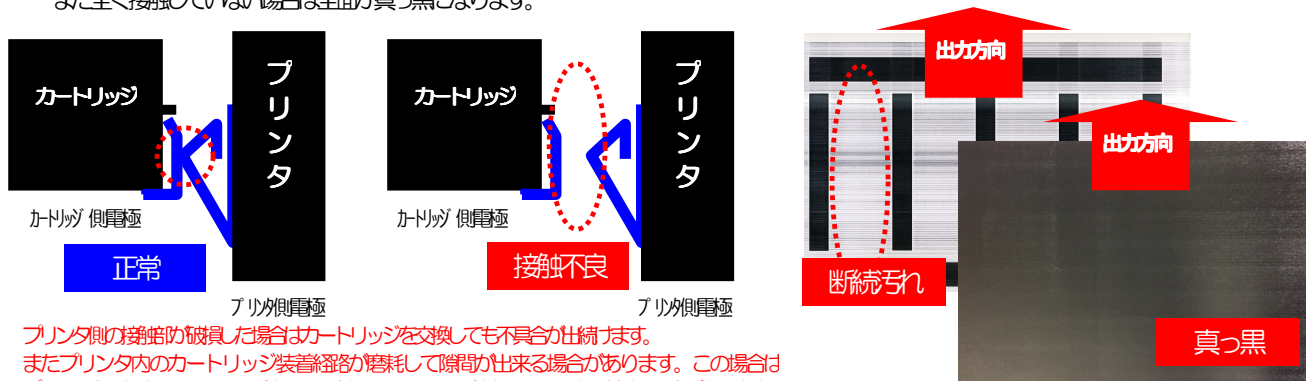


LP-7900 内部電極部について

LP-7900系 (LPA3ETC14/15 LB315A/B CT350244/245 PR-L3300-11/12) のプリンタは内部のカートリッジと接触する電極が劣化しやすく、劣化した状態のプリンタでは電極接触不良による印字不良が発生しやすくなります。電極はプリンタに向かって右側側面についています。

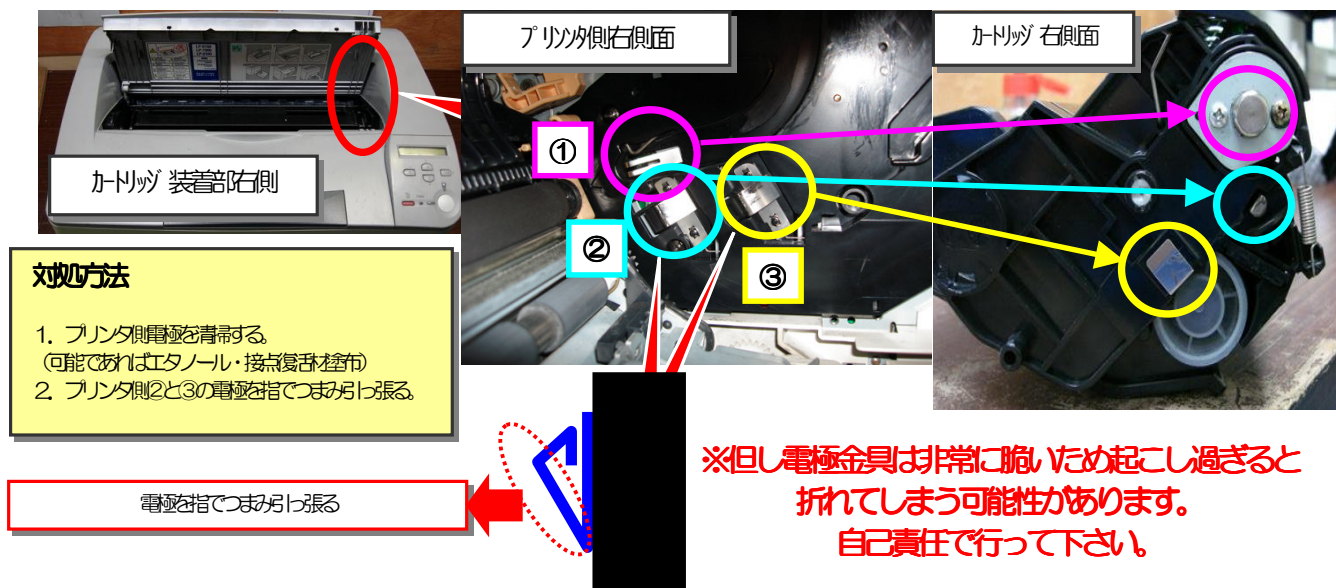
プリンタ内部の電極部が劣化すると…

本来プリンタ内部の電極とカートリッジの電極はお互いにしっかり接触しています。プリンタ側の電極が劣化すると電極同士の接触が不十分となり、カートリッジ内部の部品 (帯電ローラ) に対する電気の供給が断続的に断たれ印字に線状や帯状の汚れが発生します。また全く接触していない場合は全面真っ黒になります。



プリンタ側の接触部が破損した場合はカートリッジを交換しても不具合が継続します。またプリンタ内のカートリッジ装着経路が磨耗して隙間が出来る場合があります。この場合はプリンタ内陪までカートリッジを入れて右側にカートリッジを押し付けると改善する場合があります。

カートリッジが正常でも接触部が接触しないと同様の不具合が繰り返し発生します。



LB318系・LB311系 (8900・8700) 特有のチップ端子

LB318系・LB311系のプリンタにはプリンタ右側にチップを読み込む端子が付いています。これが汚れているたり磨耗でピンが折れているたりするとチップを読み込む事が出来ません。「チップ異常」で交換部品をしても異常なしになります。その場合は綿棒などで清掃して下さい。ピンが磨耗で折れてしまった場合は改善出来ません。

